

看護部だより

ナースキヤップ

No.28

接遇研修

2階西病棟

齊藤ゆかり



電話対応中

国語辞典によると「接遇とは応接 処遇の略で官公庁の職員が仕事の上 で般の人と対応すること」と書かれ ています。職員である前に、人として 相手の方に嫌な思いをさせないよう な態度、言葉、表情で接したいと思っ ます。まずは、あいさつからでしょう か。 接遇研修でのロールプレイは、忙し

過ぎるとどうしても「んざい」にな ってしまうし、あまり丁寧すぎて、も 息苦しくなってしまうので、程よい加 減が難しいと感じました。

ある飲食店で、注文すると、その注 文を次のスタッフに伝達する時やって くれて有難う『サンキョ』って言うの だけれど、初めて聞いた時は『ん？』っ て思いました。けれど、『ありがどう』っ てすごい魔法の言葉で、どんなにいつば い頼まれる事があっても、『サンキョ』っ て言われてしまうと、看護婦さんは、



研修風景

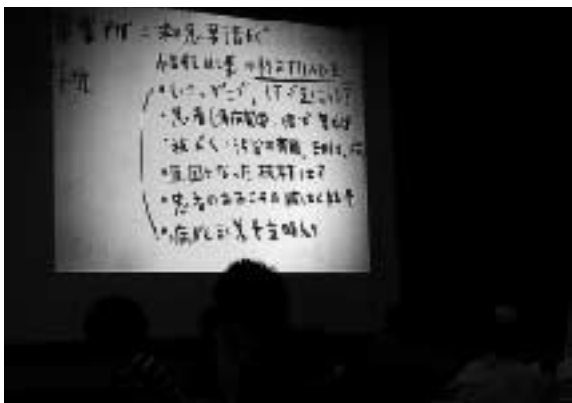
がんばっちゃう んです。マジック です。たくさん使 ってみてください。 さい。どんな社 会においても、謙 虚で、感謝の心 を忘れないよう 心掛けたい です。

緊急医療被爆講座

第一外来

主任 西尾二枝

被ばくの意味も理解不十分なまま 参加しましたが、たとえを使って用語 や放射線の特徴について、どう内部被 ばくを防止するかを学びました。そ の後、机上演習で他職種の方々と実 際のリスク回避の考え方を学べたこ とは良いシミュレーションとなり、自分 の置かれている状況の中でどう判断し、 行動すべきかを考える材料となりま した。当院に浜岡原発から被ばくし た患者が搬送されてきた想定での対 応を、他職種も交えて演習していき たいと感じました。



講座受講風景

輝キナース

パート12



4階東病棟

岡田浩子

先日、大東のシオーネで、私が所属 するビッグバンドのコンサートがあり ました。七年ぶりのコンサートでした が、四百人を超える方に大きな拍手 をいただき、観客の皆様との一体感に 感動しました。三交代の仕事をしな がら、家事と育児に忙しい毎日ですが、 家族や職場の協力を得ながら週に二 回の練習に通っています。トロンボーン の演奏は、私の元気の源です。九月は 浜松フラワーパークで、十一月にはホ ールで演奏会が予定されています。こ れからも ジャズの 演奏を楽 しんでい きます。



トロンボーンを吹く岡田さん